

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2018/12/31	2019/9/30	2019/10/11	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	20,014.77	21,755.84	21,798.87	24,448.07	2018/10/2	16,111.81	2016/11/9
NYダウ	ドル	23,327.46	26,916.83	26,816.59	27,398.68	2019/7/16	17,883.56	2016/11/4
円/ドル	円	109.69	108.08	108.29	118.66	2016/12/15	101.20	2016/11/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 米中間僚級貿易協議への思惑に左右されつつも、週末にかけて協議進展期待が高まり、上昇 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+388.67円(+1.82%)、TOPIXが+22.37ポイント(+1.42%)となり、米中間僚級貿易協議への思惑に左右されつつも、週末にかけて協議進展期待が高まり上昇しました。業種別(東証33業種)でみると、海運業、化学、小売業、金属製品などの28業種が上昇する一方、保険業、電気・ガス業などの5業種が下落しました。週初の7日は、堅調な米雇用統計を受け買い先行で始まりましたが、「中国は幅広い通商協定で合意することに消極的」との報道を受け米中貿易問題に対する楽観的な見方が後退し、下落に転じました。8日、国慶節明けの中国株市場が上昇したことや円安が進んだことから、上昇しました。9日、米国がウィグル問題を背景に中国の28団体・企業に禁輸措置を課すことや弾圧に関わったとみられる中国政府の高官へのビザ発給を制限する方針を発表したことで、米中貿易協議への懸念が高まり下落しました。週末にかけては、①米政府が、ファーウェイに機密上重要ではない製品の供給を近く認可すると報道されたこと、②10日の中間僚級貿易協議を終え、トランプ米大統領が「非常にうまくいった」と発言したことなどから、米中貿易協議の進展期待が高まり、上昇しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
10月15日	Tue	日本	日銀地域経済報告(さくらリポート)公表	10月	
		中国	第3次産業活動指数(前月比)	8月	+0.1%
		米国	CPI(消費者物価指数)(前年比)	9月	+2.8%
		国際	ニューヨーク連銀製造業景気指数	10月	2.0
10月16日	Wed	米国	IMF世界経済見通し(WEO)公表		
		米国	ベージュブック(地区連銀経済報告)		
10月17日	Thu	欧州	小売売上高(除自動車)(前月比)	9月	0.0%
		米国	EU(欧州連合)首脳会議(ブリュッセル、18日まで)		
10月18日	Fri	日本	住宅着工件数	9月	136.4万件
		中国	鉱工業生産(前月比)	9月	+0.6%
		日本	CPI(全国消費者物価指数)(除生鮮/前年比)	9月	+0.5%
		中国	GDP(国内総生産)成長率(前年比)	7-9月期	+6.2%
		国際	鉱工業生産(前年比)	9月	+6.2%
		米国	IMF・世銀の年次総会(ワシントン、20日まで)		+4.4%
決算発表予定 他		日本	決算発表 :	10/15 トール・日レSHD	
		海外	決算発表 :	10/15 シティグループ、JPモルガン、ウェルスファースト、ゴールドマン・サックス、J&J、ブラックロック 10/16 IBM、ネットフリックス 10/17 TSMC、フィリップ・モリス、モルカンS 10/18 アマゾン、カ・コラ	

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 米中貿易協議の進展期待を背景に反発基調が続く ~

今週の日本株市場は、先週末にかけて行われた米中間僚級貿易協議において中国が400~500億ドルの米農産物を購入する一方、米国は15日に予定していた2,500億ドル相当分の中国製品に対する追加関税引上げ(25%→30%)を先送りしたことを背景とした米中貿易協議の進展期待から、反発基調が続くと予想します。但し、①米中貿易協議の先行きについて、米国は依然12月15日に1,600億ドル相当分の中国製品に対して15%の追加関税を課す予定であり、トランプ米大統領が中国に対して再び強硬姿勢に転じる可能性もあること、②15日に公表されるIMF世界経済見通しにおいて、2019年、2020年の世界経済成長率の下方修正が見込まれること、③来週以降本格化する決算発表において業績下方修正懸念が残ることから、年初来高値(日経平均22,362.92円、TOPIX1,635.88ポイント)近傍では上値も重くなるかとみています。その他の注目材料として、日本では18日のCPI、米国では15日のニューヨーク連銀製造業景気指数、16日のベージュブックや小売売上高、17日の住宅着工件数や鉱工業生産、中国では18日のGDP、国際では15日のIMF世界経済見通しなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会